

## くまもと戦争と平和のミュージアム設立に向けて

12 / 28版

ピースくまもと設立準備会事務局長・くまもと戦争と平和のミュージアム設立準備会理事  
くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク代表 高谷和生

### 1 はじめに

- 戦争遺跡・遺産の学び・見学での「戦争の加害や被害の両面」からの歴史認識の重要性
- 的確な歴史認識と時代背景や地域特性に関する基礎的な学びの保証
- 「東アジア史の視野」と「地域の戦争史の認識」での両者の位置付け
- 近年、文化財活用論に圧され、全国では単に関心のハードルを下げる手法が多用されるが、誤用された昭和期の「満洲戦蹟保存運動の反省」を踏まえ、徹底した「戦争と平和の学び」の学習保証と、戦争遺産が「国民の共有財産・ヘリテージ」である文化財認識を、館の根底とすべき
- 熊本県内戦争遺産の調査・研究活動と啓発活動は、両輪の活動
- その活動そのものが「未来への継承」である

### 2 「ピースくまもと設立準備会」設立とその活動概要 ※要点のみ。詳細はHP

- 第一番目 「くまもと戦争と平和のミュージアム設立趣意書案」「同展示概要計画案」を作成  
名古屋のNPO法人「戦争と平和の資料館 ピースあいち」、岡山市立「岡山空襲展示室」
- 第二番目 展示の核となる「宇城市の上村真理子さん所蔵の戦時資料調査」  
HP上に現在まで250点を紹介。熊本市立図書館での熊本市教育委員会と共催での「夏の平和展」計3回開催
- 第三番目 一般県民向けに合志・菊地方面等への「くまもと戦争遺産の旅」を3回開催  
旅のよるこび社宮川和夫氏主催による「地域に残された戦争の傷跡」を、まずは足下から知る企画の開催。東海大学観光ビジネス学科高野誠二氏による見学モニター調査、「平和と戦争実相を学ぶ旅」のあるべき姿を、観光学の視点から継続調査しています。
- 第四番目 Yahoo「未来に残す戦争の記憶」での戦時体験証言の掲載  
Yahoo内に熊本空襲概要をまとめた「幾度もの爆撃を生き延びて～熊本空襲～」や証言動画で赤城満智子さんと安藤富士記さんの証言、高谷の活動を紹介。また、完成した本DVDは、Yahoo宮本聖二様のご厚意で熊本県・熊本市に、本会を通して寄贈

### 3 「くまもと戦争と平和のミュージアム設立準備会」で目指したいもの

#### (1) 別添「くまもと戦争と平和のミュージアム設立趣意書案」「同基本構想案」

※詳細は添付の二資料を読み込まれてください。以下は、高谷解説です。

#### ア 目指す三つの姿

##### (ア) 熊本空襲を調査・記録し、保存し、未来に継承する場とする！

- 「県都熊本市への2回にわたる空襲実相」を核に
- B29夜間焼夷弾空襲（7/1）、極東航空軍による昼間空襲（8/10）、他の艦載機空襲
- 例えば、集束焼夷弾、大型焼夷弾、落下傘付き大型焼夷弾、紙の爆弾「伝單」の発見
- その後は、川尻・宇土・松橋空襲、天草空襲、八代や水俣空襲等 県内各地への空襲実態解明

##### (イ) 熊本の戦争の歴史とその遺産に学び、戦争犠牲者に対する追悼、平和祈念の場とする！

- 「熊本の戦争の歴史」具体化としての県内戦争遺跡の紹介・展示
- 県内戦争遺跡の七大特徴による、他館との差別化
- 「戦争の歴史」具体化としての上村真理子さん戦時資料の紹介・展示
- 戦争遺跡や戦時資料、証言等を含めた戦争遺産
- 全ての戦争犠牲者（軍人や銃後の国民、朝鮮人労働者、俘虜労働者等）に対する追悼、平和祈念

##### (ウ) 次の世代が、命の尊さ、平和の大切さを学び、ヒトに伝える場とする！

- 小学生の「長崎修学旅行等」での学習の場、出前平和授業等の企画と拠点学校への持ち込み
- 中学生・高校生の「広島や沖縄、松代等への学びの旅」での学習の場、学習場面の提供
- 県民へは、戦争体験世代から戦争を知らない世代へ、「ヒト」「物」を介して伝える

#### イ 六つの特徴と性格

##### (1) 次世代の子ども達へつたえる！

- 県民・市民が、平和を考える場。「平和のバトン」を継承する場

##### (2) 歴史の客観性と総合性を！

- 歴史事実を客観的に、総合的に見ることの大切さ。市民グループとして活動視点

### (3) 熊本は平和活動発祥の地！

- 博愛社、日本赤十字社、西南戦争の戦争遺跡、ジェーンズ邸 他

### (4) 「SDGs」 平和と公正をすべての人に！

- 広い意味での平和の課題、他団体との共有事項

### (5) 平和のための調査と研究、情報の公開、デジタルミュージアムを！

- 調査・研究、資料公開、HPでの公開、新たなメディアの必要性

### (6) 犠牲者追悼と平和を祈念して！

- 戦争犠牲者への追悼、象徴的なモニュメントの公募等

## ウ 展示構成

### (ア) プロローグ展示 「熊本の戦争前史 ～博愛社の発祥から戦前の市民の暮らし～」

- 博愛社展示の課題、既存施設との差別化、資料収集の困難さ
- 戦前の市井・市民の暮らし、銃後と戦争、戦争前史

### (イ) ストリート展示① 「熊本空襲 ～二度の大空襲をへて～」 ※熊本空襲を語り継ぐ会、高谷資料を参照

- 県民の戦争体験の多くは敗戦間際の空襲被害に集約。他地域団体等との連携が最も可能
- 場合によっては、新熊本市役所や他市施設への本展示コーナー等の設置も可能では

### (ウ) ストリート展示② 「熊本の戦争の歴史をたどる ～熊本に残された戦争の傷跡 “戦争遺跡七大特徴”」 ※くまもと戦跡ネット資料、『熊本の戦争遺産』を参照

- 国民の共有財産としての戦争遺跡を、熊本独自の視点で組み立てる。
- 「地の継承」の視野 例えば、軍都熊本の象徴としての熊本城や大江等の軍施設

### (エ) 特別展示 「昭和の戦争時代 ～満州事変からアジア・太平洋戦争までを戦時資料でたどる～」 ※上村真理子氏所蔵資料を中心として

- 熊本に残すべき資料群、希少価値の高い資料で語らせる展示が可能、但し熊本関連資料が希薄
- 県民への県関係資料や特定資料の提供の呼びかけで収集を図る。

### (オ) エピローグ展示 「戦後の熊本、平和社会の実現、未来に向けて」「熊本の戦争遺産」

- 高校生平和大使、非核運動、平和持続運動。熊本の戦争遺産を全国に広げる。

## (2) 平和ミュージアム展示等での取り組みの具体例 ※企画班を主に

- ①展示の核となる上村真理子さん所蔵全資料の概要集約。現物公開と展示会等での紹介  
デジタル化とHPでの公開（現在238点から、約1000点程度）
- ②空襲、戦災、戦争遺跡、戦争遺物等の「熊本の戦争遺産」の調査・検証活動  
熊本の戦争遺産の啓発活動
- ③熊本での戦争に関する既存証言や資料等の類別化とデジタル化、映像の集約
- ④次世代へつなげる小中学生向け平和教育の学習支援と実践
- ⑤高校生や大学生等の平和活動、職域平和運動への支援
- ⑥熊本関連資料の収集、県民・市民からの提供お願い ※以下、広報渉外班
- ⑦広報戦略として、熊本県民向けの「くまもと戦争遺産の旅」定期開催
- ⑧準備会HP新設による適時の活動内容等の情報発信と公開
- ⑨「くまもと戦争と平和デジタルミュージアム（仮）」開設  
※当面の利用は可 <https://kumamoto-senseki.net/peace-kumamoto/>
- ⑩県民向け啓発活動として、地域に根ざした例会・展示会と特別講演会等の開催

## 4 まとめ

- 会の立ち位置は！ 設立のためだけの会なのか、広く調査・啓発も行なう会なのか。
- 「企画班」の役割と構成・内容・事業、伴う各予算
- 県内外の大学等研究者や各研究会との連携 熊本近代史研究会、熊本史談会、空襲戦災を記録する会。さらに全国の平和資料館のデジタル検索等により、大きなパズルを埋める作業が必要
- 県内の民間資料館二館（菊池飛行場ミュージアム・荒尾二造平和資料館）との意見交換及び連携。ただし高谷としては「錦町・人吉海軍航空基地資料館」との連携等があれば、本会を退会します。その理由として「集客目的施設、館条例への平和希求文言非記載、くまもと戦跡ネット調査の零戦データの無断掲載等へ無回答、高谷個人・戦跡保存全国ネットへの関係者中傷ブログ等」があります。



ピースくまもと設立準備会HPのTOP画面

上村真理子戦時資料室の紹介、各会議及び協議報告を掲載